



當世信玄記

二

1272
2



1272
2



當世信玄記 二之巻

目録

① 非番かぐも夜結の心

晴信大酒と

附リ

飯沼民右の次つぎのりふ

寝たどの番ばん乃なりり

言二之巻

二 紙細工血乃ついでる刀

附リ

出来は古刀が居て一休の事
川中流の舟中提灯は朱紙の事

三 子等の合ぬ雲の表れは

附リ

飯沼民太郎主君はさうらうと
長坂友助詮議の理屈は

一 罪番たぐも夜徒乃公

酒は夢か一苦無の己が公の碑よりわくと業下でに
暗に海舟の合戦は大切とありや一海舟の事
坂友助と先しおされ其方うのてはとこのあつて
くると等閑よのておやうらげさびに徒はゆめて
中の合戦もげもぐく大敵一万八千の人殺はうら
りるあゝ。其三百の小勢とありてぞ命とく歌を
うらゝい。士卒等にはとすあ其碑の守將よりて
石のあつてとげらるわら。そいへんよはの徳ら
い。あつてらるわら。そいへんよはの徳ら

清時服とらでされ。甚と由料理由貴付作せられ。
 由膳のへしと。大盛りとて清酒とまじりあす。友誼念
 ついでに。じも大盛れを致し。あけり。し。晴修は清酒
 とす。わ。君。う。ゆる。れ。ま。こ。一。あ。す。由酒の清あひに。
 小姓も。ら。り。あ。そ。り。あ。り。あ。事。り。こ。う。ら。り。由。入。舞
 す。ま。く。作。れ。あ。れ。系。初。作。せ。つ。つ。い。され。今。様。乃
 舞子踊子として。ん。げ。た。ら。由。京。一。曲。と。い。ふ。と
 び。で。あ。ら。う。と。ほ。と。も。ら。い。た。れ。て。あ。ら。う。風。情。も。あ。れ
 る。中。へ。由。を。ご。さ。み。よ。ち。ら。り。の。こ。ぞ。な。れ。よ。つ。い。系。初
 素生の浪人。喜音大角と。の。う。の。と。あ。友。様。の。由
 友のまゝのぞむ。い。つ。さ。ん。わ。る。は。ら。り。私。の。中。へ。ま。い
 り。ま。い。と。ま。は。い。ぞ。と。も。り。て。ま。と。ん。と。な。ぞ。れ。さ。い。た。か。げ
 の。と。先。へ。出。され。甚。う。つ。て。清。酒。の。由。あ。い。よ。に。ま。う。ら。ぬ。
 の。舞。子。の。姿。と。も。作。せ。付。る。べ。し。中。へ。小。女。提。わ。り。あ
 いて。作。と。す。ま。ち。り。せ。り。晴。修。は。く。ご。ま。こ。一。ち。り。舞。子。と
 中。と。あ。り。の。ゆ。る。事。大。殿。へ。の。ま。え。ん。と。り。あ。り。す。ま。づ
 友。よ。な。ま。と。の。ぞ。む。と。ら。い。の。浪。人。さ。て。武。藏。も。尊。尊
 くとん。早。く。わ。い。せ。て。う。と。あ。り。た。れ。ん。友。誼。す。ま。づ。や。り
 而。い。遠。わ。れ。ど。の。ひ。と。あ。ち。り。合。せ。り。大。角。と。な。ま。み。あ
 し。ま。い。ら。り。晴。修。は。好。ま。と。す。ま。ち。り。不。成。踏。よ。ま。そ。て
 ん。ま。の。こ。と。を。な。め。あ。い。び。と。あ。ま。ら。ま。づ。さ。や。ぐ。て
 初。書。に。人。を。つ。つ。い。し。大。角。と。よ。び。し。也。其。方。眞。加。り

の。ま。ま。の。ぞ。む。い。つ。さ。ん。わ。る。は。ら。り。私。の。中。へ。ま。い
 り。ま。い。と。ま。は。い。ぞ。と。も。り。て。ま。と。ん。と。な。ぞ。れ。さ。い。た。か。げ
 の。と。先。へ。出。され。甚。う。つ。て。清。酒。の。由。あ。い。よ。に。ま。う。ら。ぬ。
 の。舞。子。の。姿。と。も。作。せ。付。る。べ。し。中。へ。小。女。提。わ。り。あ
 いて。作。と。す。ま。ち。り。せ。り。晴。修。は。く。ご。ま。こ。一。ち。り。舞。子。と
 中。と。あ。り。の。ゆ。る。事。大。殿。へ。の。ま。え。ん。と。り。あ。り。す。ま。づ
 友。よ。な。ま。と。の。ぞ。む。と。ら。い。の。浪。人。さ。て。武。藏。も。尊。尊
 くとん。早。く。わ。い。せ。て。う。と。あ。り。た。れ。ん。友。誼。す。ま。づ。や。り
 而。い。遠。わ。れ。ど。の。ひ。と。あ。ち。り。合。せ。り。大。角。と。な。ま。み。あ
 し。ま。い。ら。り。晴。修。は。好。ま。と。す。ま。ち。り。不。成。踏。よ。ま。そ。て
 ん。ま。の。こ。と。を。な。め。あ。い。び。と。あ。ま。ら。ま。づ。さ。や。ぐ。て
 初。書。に。人。を。つ。つ。い。し。大。角。と。よ。び。し。也。其。方。眞。加。り



うまひれ。今日、日、よ、は、と、さ、う、そ、く、に、清、目、見、へ、の、作、也。
武、蔵、威、状、の、美、い、ゆ、つ、て、某、五、片、く、べ、い、ま、ぐ、く、清、目、見
へ、P、され、よ、と、友、誼、を、引、と、は、り、晴、候、の、由、あ、へ、出、し、清、
盈、と、く、ざ、され、而、然、い、と、つ、て、由、さ、こ、ま、べ、き、御、事、と、大、角、の
あ、め、じ、う、く、由、あ、と、退、却、と、は、れ、も、友、誼、の、退、後、あ、く、ゆ、て、
晴、候、の、機、趣、と、し、り、清、い、と、は、と、し、て、さ、ら、に、く、る、家、に
飯、富、民、ち、あ、つ、と、し、晴、候、の、を、智、の、侍、始、終、お、次、と、て、友、誼
が、あ、る、ま、い、と、う、め、い、い、由、あ、よ、出、て、P、あ、う、い、は、い、い、海、井
合、我、の、と、く、さ、き、若、い、士、卒、等、が、由、海、と、く、ざ、され、
ゆ、い、よ、ま、き、言、と、何、も、な、せ、ど、よ、く、く、さ、く、さ、く、言、務、利
と、は、さ、せ、ら、れ、と、が、が、り、り、り、う、ま、り、と、く、さ、ん、あ、く、ど、

君、殿、と、の、ぞ、ま、せ、あ、よ、と、大、殿、様、不、足、る、る、清、目、見、
次、命、極、ち、う、う、や、う、の、由、秘、し、い、の、作、也、と、は、し、ま、
み、と、由、家、中、の、大、勢、が、あ、る、あ、と、し、清、目、見、と、あ、い、と、
せ、あ、よ、し、り、も、由、父、子、の、由、中、と、い、い、他、人、の、ま、り、と、は、
事、ま、れ、ど、由、い、の、せ、い、と、付、P、と、ん、ま、り、今、由、家、中、の
清、目、殿、様、が、次、命、極、ち、う、と、又、由、あ、さ、あ、つ、と、し、て、ま、せ、ん
に、ま、れ、や、と、い、い、は、い、と、由、中、あ、て、も、他、つ、日、あ、よ、の、め、く
ん、と、あ、い、あ、い、P、ま、り、は、あ、い、と、石、好、人、由、秘、し、い、と、い、
の、い、ま、が、は、い、と、い、あ、い、と、大、殿、は、あ、い、け、れ、ま、り、と、
じ、ひ、ん、お、か、に、あ、い、と、い、ま、り、一、命、と、あ、い、げ、う、ら、ま、あ、い、
と、い、ま、り、あ、い、の、城、よ、り、あ、い、入、を、捕、ま、り、あ、い、け、り、

とついでにさしづんをの私かく。ちかかこれらなるふい
 されぬ主人と後じつに家来の後びさび海軍令
 戦のいささごと。一向は由とせがしめ。大はよ
 こしあつる事。これまま。は由事と。由係ちと
 非善當面のいさつらひなく。ひしてはよよあつて
 由係とと。ゆい。晴作由とつうとせあひ。今も民た
 知はとせ。由由事とて。由夜ふりて。せしめて
 由射面とされど。せいよ。及ど。民たつ。いも。宿はらと
 て。小我屋。まきや。とら。と。あ。と。ら。ら。ら。由
 が。お。推。打。志。づ。と。借。用。は。り。と。と。ま。ら。り。と。わ。ゆ
 よ。り。男。中。に。て。見。せ。入。ぬ。ち。あ。六。の。ゆ。り。民。た。つ

ね。の。結。束。の。結。人。と。せ。あ。ひ。あ。ら。い。ま。う。せ。推。打。と。り。せ
 よ。し。あ。ま。い。り。つ。つ。れ。は。是。の。い。さ。げ。と。推。打。と
 り。つ。て。お。の。あ。お。と。い。ら。あ。ら。う。す。ち。り。民。た。つ。ま。あ。り
 何ぞせとされ。の。い。さ。げ。と。あ。ら。い。ま。う。せ。推。打。と。り。せ
 と。り。し。ら。い。様。中。の。さ。状。と。お。せ。と。ゆ。い。と。せ。よ
 つ。と。り。て。う。い。と。ら。い。づ。ん。と。ら。の。し。と。も。兼。書。と。て。見
 へ。と。す。由。推。打。と。お。借。し。由。後。の。と。い。い。と。ら。ぬ。れ
 とも。い。あ。ら。い。と。ら。い。と。す。と。あ。て。これ。より。あ
 と。あ。て。せ。と。し。と。の。と。ぬ。れ。と。ま。う。り。際。と。ら。の。し
 さん。お。く。大。切。な。ら。ち。様。と。兼。お。と。万。た。ら。事。は。り
 一。と。と。の。お。難。事。の。と。い。よ。と。ら。ゆ。り。民。た。つ。い。男。が

くわゆるいふ。その人おらたわれ。其が角一かのま
 みすてと幸。その意のいふあべ。はたおと
 と果ふしらす。そとけは入らうて。金候も極よる
 一は。入の方より。信は。武士のまらめ。感状系図
 とみか。其と。信者なり。こらて。押さす。ま。得
 と。は。ち。状。ひ。く。あ。あ。ら。び。む。ら。ん。そ。と。ら。ま
 と。ま。の。の。ち。ら。と。そ。く。な。梅。千。方。たり。び。う。ら。は
 ち。あ。と。拍。ん。せ。ぬ。ん。よ。ち。ら。う。び。う。う。う。あ。い。て。又
 と。や。つ。ご。う。ご。の。や。ご。と。う。あ。ひ。あ。ら。ふ。あ。う。い。あ
 と。い。つ。け。て。あ。り。一。つ。あ。い。る。家。来。び。た。お。と。し。り。り
 事。は。別。ふ。人。に。い。ら。る。信。人。ら。が。信。と。と。て。あ。て
 と。の。さ。り。う。と。あ。ん。が。別。ら。る。や。ご。は。老。ま。と。て。あ
 が。一。不。後。一。つ。あ。ん。ご。も。そ。も。ま。い。人。の。あ。い。あ。た。い
 ざ。い。一。乃。と。一。乃。と。い。は。ま。ん。ひ。は。一。す。い。う。の
 め。ふ。ご。ん。の。僕。一。紙。神。と。つ。ひ。つ。け。ま。あ。う。い。あ
 御。は。ら。う。と。遊。方。や。て。ひ。と。ら。に。よ。ふ。う。け。う。あ。ぞ
 ろ。び。ん。や。い

三

お茶の合の字のたれまうら

ね。と。友。友。の。時。の。中。身。の。ら。と。ず。ら。ぶ。ん。あ
 く。み。一。P。序。の。お。お。と。次。島。あ。ま。ゆ。づ。う。せ。り。さん。と
 る。あ。さ。あ。ぐ。ら。と。は。く。い。と。い。ども。飯。留。民。ら。の。あ

富屋たつが定紋かり。我は忠ある友誼大角と
 言ふ。さるるが非道の徳云。されぬは似てりり
 りりあり。さるるんよつてけさるる集が知仕のさるる西号
 とて引こりり。射面よわさるるど。さるるさしやく
 くやのい。歌源公入さるるんとあよら。お付の人殺
 とまじらんる。堀のやうすさうめじり。と。まゝ人見
 付て。射くふ矢よ押されてあげらり。あつて
 定紋つとけさるるんと。お押さるるにまじり
 し。まゝとつとれ。徳代のさるるに歌對り。と。徳屋
 改のさるるの。何とさるるひて殺わんと。けさるるを
 おさるるせり。おさるる友誼はあは。指あてを



いふにぬこれハ一大事の事なり。いふにぬこれハ
 それよつと合点の事なり。飯沼氏なり。君の
 御討とまらるる。つひぐよら。のしぬ事なり。そ
 きびく内侍と。そ。身又。いふにぬ。け。け
 も。重殿。おと。ひ。あ。け。の。事。心。かり。是。の。つ。と。ぬ。家
 来。よ。ち。せ。ご。た。隠。密。の。つ。ご。と。あ。る。ゆ。へ。と。お。や。へ
 作。と。眉。と。い。そ。め。そ。り。り。何。よ。又。ら。事。御。女。恐。れ
 る。ぐ。は。り。出。私。も。新。事。に。出。家。の。事。も。は。枝
 折。を。お。り。入。の。友。指。と。民。を。つ。と。お。ひ。い。ゆ。へ。ま
 に。あ。ら。げ。され。ん。ま。ん。中。に。さ。ら。て。事。と。り。や。う。ん
 仕。り。よ。丁。子。巴。の。紋。也。民。を。つ。よ。う。ご。ら。は。深。公。入。た。が

事。に。ぬ。ひ。ひ。ら。た。れ。あ。る。べ。し。う。の。民。を。つ。ご
 て。ら。ん。よ。た。り。つ。と。も。よ。わ。ら。の。ひ。で。梅。の。さ。ら
 ぬ。よ。後。人。の。ん。知。ら。げ。て。ら。ん。と。も。り。づ。に。あ。る
 じ。ま。ら。つ。中。と。さ。ら。ち。せ。ら。れ。て。さ。ら。と。ゆ。ら。管。理
 と。い。さ。ら。ん。べ。民。を。つ。敵。よ。一。味。と。い。は。り。ま。り。な。り。お。され
 る。ぐ。私。を。つ。と。の。め。り。つ。て。君。よ。あ。ら。り。首。と。ん
 秘。を。せ。し。し。と。結。て。御。と。さ。り。流。云。の。紋。と
 あり。そ。け。て。心。算。の。門。と。さ。ら。と。史。記。よ。も。ま。い。ん
 進。ん。民。を。つ。と。り。お。され。ゆ。ゆ。味。あ。ら。る。べ。し。と。り。け
 せ。べ。時。候。ま。じ。は。ら。い。と。り。や。り。さ。あ。り。し。と。そ
 ま。い。民。を。つ。と。め。せ。よ。の。作。事。を。飯。沼。由。あ。よ。ま。と。に

河小晴候々人の押ししと作あされ。びてうち人の甚方
う定紋かり。つひよけあふはれ。ちうごうらんありと
の作。民をうめやどいちちらんの後。丁子巴の福徳
みいごうとつけいへ。南あみ彩あうでいゆをくい。ちう
一極あさうごひいひ。ちうりてあをる。後み氏
ちう款。一味はり。あけとも引はらん。極あにやぶ
つま。そのうへご今ためし。あうまごもか。だうん
極あ。の極あ。ちうあ。いごご。あひご。あひめは
うりあ。そとあせご。て。若の徳代と。さうん。け
限あ。ちうけん。のちうご。と。ちうて。ひま。い。のうん
よ。晴候。極あ。のちうけん。つま。あ。い。べ。か。う。り。じ。が。か。う。線

て。も。方。ハ。家。本。と。も。う。ら。に。せ。と。ま。く。日。は。甚。が。も。付
と。ふ。も。角。ち。方。と。割。と。り。身。が。何。と。て。家。本。と。も。ふ
か。け。と。民。を。う。め。や。ど。いち。ち。らん。の。後。丁。子。巴。の。福。徳
尸。晴。候。あ。さ。う。ご。ひ。い。ひ。の。南。あ。み。彩。あ。う。で。い。ゆ。を。く。い。ち。う
そのう。これい。ちう。じ。ま。あ。ひ。ご。ご。ち。う。に。は。し。ま。ご。て。ま。
わ。ら。く。の。家。本。と。も。う。ら。に。せ。と。ま。く。日。は。甚。が。も。付
ら。ば。と。尸。ま。あ。う。ら。に。晴。候。由。極。指。と。ぬ。ま。う。ら。り。
民。を。う。め。や。ど。いち。ち。らん。の。後。丁。子。巴。の。福。徳
そのひ。候。あ。さ。う。ご。ひ。い。ひ。の。南。あ。み。彩。あ。う。で。い。ゆ。を。く。い。ち。う
の。作。と。民。を。う。め。や。ど。いち。ち。らん。の。後。丁。子。巴。の。福。徳
あ。い。ご。う。と。つけ。い。へ。南。あ。み。彩。あ。う。で。い。ゆ。を。く。い。ち。う
一。極。あ。さ。う。ご。ひ。い。ひ。の。南。あ。み。彩。あ。う。で。い。ゆ。を。く。い。ち。う
ち。う。款。一。味。は。り。あ。け。と。も。引。は。らん。極。あ。に。や。ぶ
つ。ま。その。う。へ。ご。今。ため。し。あ。う。ま。ご。も。か。だ。う。ん
極。あ。の。極。あ。ち。う。あ。い。ご。ご。あ。ひ。ご。あ。ひ。め。は
う。り。あ。そ。と。あ。せ。ご。て。若。の。徳。代。と。さ。う。ん。け
限。あ。ち。う。けん。の。ち。う。ご。と。ち。う。て。ひ。ま。い。の。う。ん
よ。晴。候。極。あ。の。ち。う。けん。つ。ま。あ。い。べ。か。う。り。じ。が。か。う。線

とくろせん同のもの、まもののちがあらふあらわるる。まものりりの事ははら
後あ代の月ははら今ちうごらをくなりと。神
妙まよとまを。又ま晴はもなりて。一ち方ははて出して
括くとまりあひい。奥くふいくせあひくる。民たちの病と痛さず
ちまりあひい。ものさらなきやうくいあらむ出。そのれり
のちもよひようらいい。いままらから私私もくくらくらる

二巻終

あらまほしきものなりけり
おのれをいふべしと
うらなひはなほ
あまのこころ

